

ふるさと光の会だより

第7号
平成23年10月

発行 ふるさと光の会事務局
連絡先 〒743-8501 光市中央六丁目1-1 光市企画広報課企画係
TEL 0833-72-1400(代表) FAX 0833-72-1436
E-mail kikaku@city.hikari.lg.jp



がんばった国体!
がんばろう日本!

第5回総会・交流会を盛大に開催

大きな交流の輪が広がる



平成23年7月8日(金)、八重洲富士屋ホテル(東京都中央区)を会場に、ふるさと光を愛し発展を祈る64人が集い、第5回「ふるさと光の会」総会・交流会を盛大に開催しました。

総会冒頭、中原会長は「会の目的を改めて認識し、会員の皆さんの協力をいただきながら、会とふるさと光がともに活性化するように頑張りたい」と決意を表しました。また、光市の市川市長は、「石川啄木の句を引用しながら「ふるさととの友はありがたきかな」と思いを述べました。

議事では、ふるさと光関東交流マップ「おいでーね 私んところ」の配布や、知人・友人へのふるさと光のPRなどを進めることが確認されました。また、高山事務局長が「やってみました『ふるさと納税』と題し、自身の経験を交えてふるさと納税(ふるさと光応援寄附金)への協力を会員に呼びかけました。

交流会では、中原会長が名曲「テイクミーホーム・カントリーロード」で自慢の美声を披露するとともに、「良いところ」に生まれて、良いふるさとを持った」とふるさと光への思いを語りました。

続いて、おなじみの梅酒「ひかり冠梅」を手に、会計検査院事務総長の河戸光彦さんの音頭で乾杯した後、アトラクションとして、いなせ家半七師匠が漫談や南京玉すだれを演じて会場を沸かせました。

また、福田勝洋副会長の紹介で特別参加の田布施町出身のタレント松村邦洋さん、新アルバム「マイ・リバー」を発表した鈴木輪さん、「光文様手ぬぐい」をデザインしたソニーデザイナーの磯永泰明さん、猿まわし師の村崎太郎さん、「ヤクザが店にやってきた」の宮本照夫さん、フリーアナウンサーの徳山ひかりさんの活動紹介や、参加者インタビューなど、ふるさと話が弾みました。

最後は、恒例の「ふるさと」合唱と、橋本顧問の音頭による万歳三唱で閉幕。初参加の方も多く、会員同士、また会員とふるさと光の交流の輪が大きく広がる会でした。

～交流会フォトグラフ～



観客を巻き込んだ半七師匠の楽しい漫談で大盛り上がり



徳山ひかりさんのインタビュー
3人は旧大和町の出身だそうです



同級生の美女に挟まれ
両手に花の市川市長もご満悦♡

おいでーね 私んところ



が完成しました！

これまで作成を進めてきた、ふるさと光関東交流マップ「おいでーね 私んところ」が完成しました。情報のご提供、本当にありがとうございます。

このマップは、光市出身者やゆかりのある方が関東地域で経営する会社やお店などの情報を掲載し、「ふるさと光の会」会員相互の交流の促進と、光市から関東に上京する学生など後進の支援を図り、ふるさと光を縁とする大きな交流の輪を広げることを目的としています。今後は、会員の皆さんをはじめ、光市の高校の卒業生や同窓生などに配布する予定です。

中には、マップを持参することで、ちょっとしたサービスをいただけるお店もありますので、会員の皆さんにもぜひご利用いただき、交流の輪を広げていただきたいと思えます。

まだまだ

情報募集中!!

「おいでーね 私んところ」は、新しい情報を加えて内容を充実させ、改訂を重ねていきたいと考えています。

引き続き、光市出身またはゆかりのある方が経営する会社やお店の情報を大募集中です。皆さんのご協力をよろしく願います！

ご意見ください!!

光市UJIターン情報サイト 大好き！ひかり

光市の魅力や住み良さをPRするため、光市ホームページ内に「光市UJIターン情報サイト 大好き！ひかり」を開設し、光市の沿革や特徴、光市での生活や出身者・定住者の声など、様々な情報を幅広く提供しています。

このサイトをより一層充実させるために、どのような内容を加えたら良いか、どのような情報があればUJIターンに関心を持つか、などについて、会員の皆さんの**知恵**や**感性**にご協力いただきたいと思います。

改善提案や要望など、どんなことでも構いませんので、ぜひご意見を光市企画広報課企画係までお寄せください。

大好き！ひかり

検索

Click!!

ふるさと光応援寄附金(ふるさと納税)に

ご協力をよろしく願います

光市では、寄附を通してまちづくりに参加していただく「ふるさと光応援寄附金(ふるさと納税)」を募集しています。これまでの「寄附は、室積・虹ヶ浜海岸の松の植樹や幼稚園・学童保育の施設整備、高齢者の緊急通報体制整備など、様々な事業に活用されています。

総会で高山事務局長から「やってみました『ふるさと納税』で説明があったように「最初は面倒くさいかな」と思ったふるさと納税ですが、手続きはいたって簡単」です。

ふるさと光を応援する気持ちを届け、より魅力あるふるさとをつくるための「ふるさと光応援寄附金」に、会員の皆様のご協力をよろしく願います。お問い合わせ・お申し込みは、光市企画広報課企画係までご連絡ください。(TEL 0833-72-1400 (代表))

会員のひろば

第5回総会・交流会の出欠返信はがきで、会員の皆様から近況やふるさと光へのメッセージをいただきました。その中から、一部をご紹介させていただきます。

○仕事で震災対応をしてきましたが、日頃の備えが非常に大事だと感じました。光でも防災面の強化をぜひお願いします。

○しっかりと上を向いて歩いて行きます。大変な世の中ですが、つらい時もあります。

○今回の東日本大震災で、横浜も恐怖を感じるほどひどく揺れました。テレビで故郷が消えた東北の人を見るにつけ、胸が痛みます。

○今年はこちらとタイミング良く帰省でき、5月28日の樺まつりに参加してきました。あいにくの雨でしたが、多数の来訪があり、伊保木の山の中がとても盛り上がっていました。

○光輝く町が全国の皆様に強いメッセージが送れる事を願っています。政治も何かものたりないものを感じてなりません！

○第30回藤公の里マラソンが3月に有りました。出来ましたら、ハーフマラソン等で発展したらどうでしょうか。ハーフマラソンにしますと、たぶん県外からも出場が有ると思います。コースは光駅スタート、大和総合体育館ゴール。従来種目は従来通りで。

○鉄腕ダッシュで光が紹介され、なつかしく拝見しました。

○この春、父母の法要にて帰光しました。かんぼの宿に幼友達が12名集まってくれました。菩提寺の専光寺をはじめ、象鼻ヶ岬灯台、お普賢様、雪舟の庭も拝観させて頂きました。毎度の事、コバルトラインも一周しましたよ!! 何度行ってもあきることないふる里、友良し、景色も良し、魚もうまいし、心癒された五日間でした。ありがとうございました。

投稿掲示板

○白萩の尾根越しの青虹ヶ浜

○目の前に夏夕焼けの虹ヶ浜君と歩きし時を思へり

○人恋し傘寿にとどく同期会終りし人のひともがきかな

中村 安平さん(東京都町田市)

※身近な話題や俳句・川柳など、住所・氏名(匿名でも可)を添えて投稿ください。会報に掲載させていただきます。

ふるさとだより

ふるさとの話題をピックアップして皆さんにお届けします。

光市民ホール隣の新町公園に展示されているSL(蒸気機関車)が、今年10月に撤去されることになりました。

このSLは、昭和14年に製造されたC58形式65号で、山口県の宇部・小野田線などを貨物輸送車として運行した後に廃車となり、旧光市の市制30周年記念として昭和48年9月に当時の国鉄から無償貸与されたものです。子どもたちの遊び場として長く市民に愛されてきましたが、風雨による老朽化が著しく、38年間の展示を終え、JR西日本に返却されます。

光市を彩った風景の一つが消えゆくことは寂しく感じますが、長い間、本当にお疲れ様でした。





おいでませ！山口国体 ふるさと光の選手が大活躍！



10月1日に開会した東日本大震災復興支援 第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」は、山口県勢が悲願の天皇杯・皇后杯を獲得し、11日に閉会しました。

セーリング競技では、ふるさと光の選手を中心とした山口県チームが、10種目中3種目で優勝するなど、7種目で3位以内に入賞。

断トツの成績で男女総合優勝・女子総合優勝を飾り、天皇杯・皇后杯獲得に大きく貢献しました。



総合優勝し歓喜に包まれるセーリング競技の選手団



3位入賞を引き寄せた松尾選手(右端)

バドミントン競技でも、成年男子チームのシングルスで出場した浅江中出身の松尾光平選手が、3位決定戦で劣勢をはね返して逆転勝利し、その勢いでチームも勝利して3位入賞の快挙を達成。男女総合でも8位に入賞しました。

また、レクリエーション卓球では、県内から300人を超える選手が集まり、交流を深めました。

国体は、来年は岐阜県、そして2年後には東京都で開催されます。引き続き、ふるさと光の選手に応援をよろしくお願ひします。



「里の厨」がオープン

地元産農産物やコッペパンが大人気

伊藤公記念公園にほど近い光市東荷に、光市農業振興拠点施設「里の厨」が7月にオープンしました。

農産品直売所を核とした「里の厨」は、地産地消を推進し、地域農業の振興を図る拠点として、生産（1次）、加工（2次）、販売（3次）の流れを一元化した第6次産業の展開を目指しています。さらに、「環境・教育・観光」の3Kの

視点から、隣接する体験農園と併せて加工体験や栽培講習会を行う体験室・研修室、地域の観光情報などを紹介する情報発信室、旬の地元食材を使ったメニューを楽しめるレストランなどを備え、まさに「新たな価値」「新たな満足」を生み出すことが期待されています。

オープン初日は、3000人を超える来客であふれ、野菜や果物、はちみつやジャム、総菜などが飛ぶように売れていきました。また、店内で作っている「冷やしコッペパン」が大好評で、今後は地元産の米を使った米粉パンの開発も予定されています。

帰光された折には、ぜひ懐かしいふるさと光の味にふれていただきたいと思ひます。



TEL 082014910831
営業時間 9～17時
（4～9月は18時まで）
定休日 毎週月曜日